

規模配置の適正化検討

若狭町の小中一斉休業日も確認

総合教育会議

若狭町は町上中庁舎で8月13～15日を一斉休業
総合教育会議を開き、本日とする方針も確認し
年度から小中学校の学
校規模や配置の適正化
について検討する方針
を確認した。児童生徒が
減少していく現状を踏
まえ、教育環境の充実を
図るのが狙い。また、全
小中学校で夏休み中の

【3面に関連記事】

同町内には小学校が11
校、中学校は2校あり、
2017年度5月現在で
1校あたりの児童数は82
人、学級数は5・5クラ
スで、ともに県平均を
下回っている。さらに20
～45年の25年間で、小中
生とも約33%の減少を見
込んでいる。
同会議は3月26日に開
かれ、森下裕町長や玉井
喜廣町教育長ら5人が

出席。児童生徒の減少に
より集団の中で多様な
考えに触れる機会が減
っていることや、社会性
の育成機能が弱まって
いるとし、保護者や地域
住民との共通理解を図
りながら、再編の是非を
含めて学校のあり方に
ついて検討することを決
めた。まず4月中に町民
や保育所・小中学校の全
保護者、小学6年生と中
学3年生の計約2千人に
アンケートを実施し、規
模や配置などの適正化に
向けて検討を進めてい
く。
夏休み期間中の学校一
斉休業日は、13～15日に
加え、土日祝日を含め連
続5日間の休暇を取れる
ようにする方針。夏休み
でも日直業務や部活動な
どで休みを取りづらい教
職員が、心身を休める期
間を作ることで教育の質
を高める狙い。同様の取
り組みは、県内では永平
寺町が昨年度から導入し
ているほか、福井市など
が本年度から計画してい
る。
(藤田有美)